

適切な赤かび病防除で デオキシニバレノール(DON)汚染 リスクを低減しましょう！

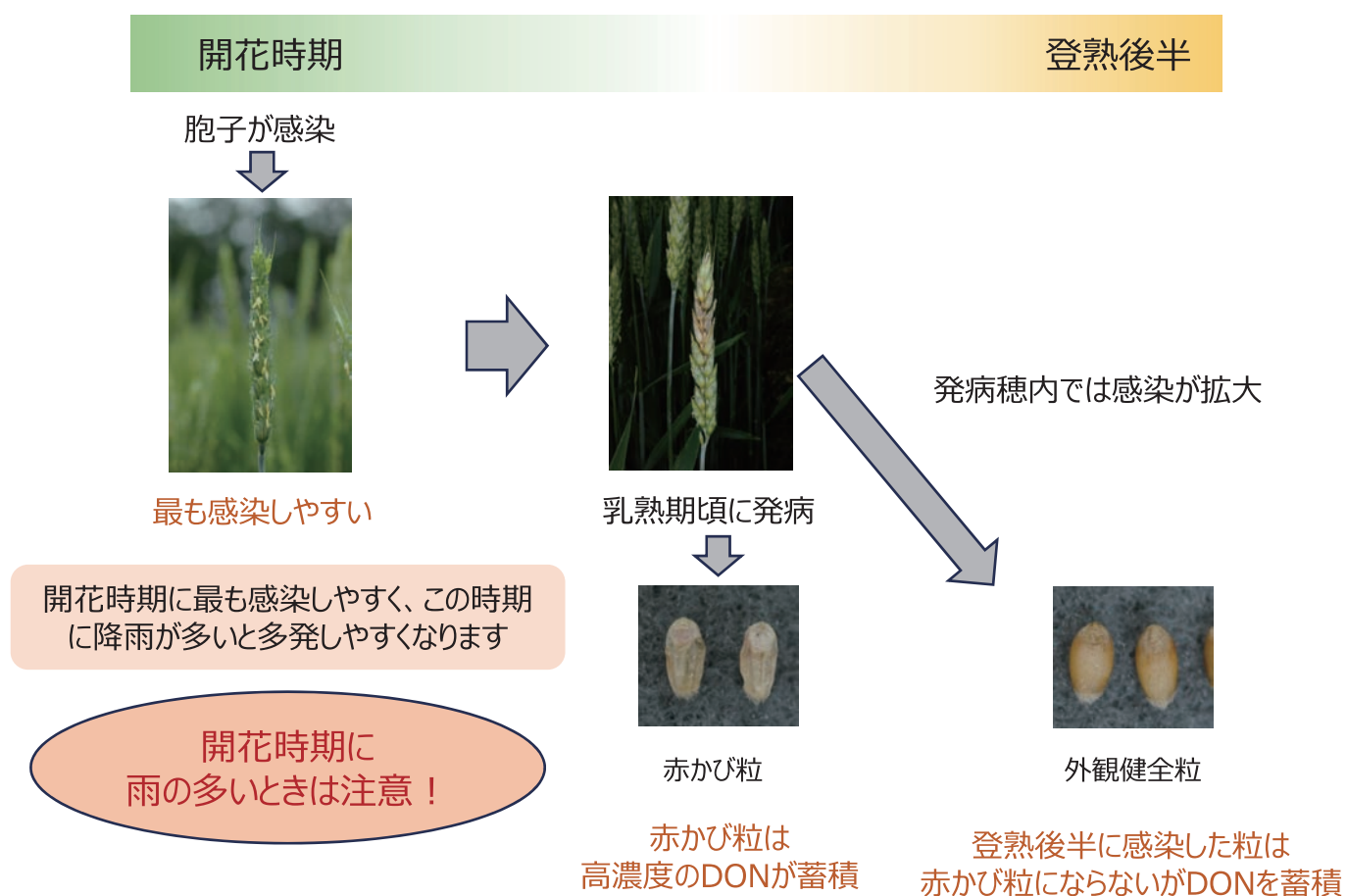
令和5年11月に岩手でDON基準値超過事案が発生しました！
北海道での発生防止に努めましょう！



2022年からデオキシニバレノール(DON)の基準値が変わりました！

- ・赤かび病菌は人畜に有害なかび毒の一種、DONをつくります。
- ・食品・添加物等の規格基準が改訂され、従来の暫定基準値（1.1ppm）から**基準値 1.0mg/kg(1.0ppm)**に変更されました。
- ・これを超える小麦は食用として流通できません。
- ・また、**赤かび粒率0.0%**を超えると規格外になります。

赤かび病の多発要因とDON蓄積



病原菌

道内で発生する主な赤かび病菌

	フザリウム・グラミニアラム	ミクロドキウム・ニバーレ	フザリウム・アベナシウム
DON産生	○	×	×
発生地域	道内全域で発生	道内全域で発生するが、道東で多い	道内全域で発生

防除薬剤

表 赤かび病（DON濃度低減・ニバーレ菌）に対する指導参考薬剤

薬剤	処理濃度	DON濃度低減	ニバーレ菌
プロラインフロアブル	2000	●	●
ミラビスフロアブル	1500	●	●
バラライカ水和剤	500	●	●
シルバキュアフロアブル	2000	●	
リベロ水和剤	2000	●	
ベフトップジンフロアブル	800～1000	●	●
トップジンM水和剤	1500	●	
トップジンMソル	1000～1500	●	
ベフラン液剤25	1000	●	●
プライア水和剤	1000	●	●
	1500		●
オーソサイド水和剤80	600～1000		●

* 令和6年度北海道農作物病害虫・雑草防除ガイドよりDON濃度低減およびニバーレ菌に対する指導参考薬剤（少量散布を除く）を抜粋

薬剤散布時期



「上堀原図」

穂が出きっていない

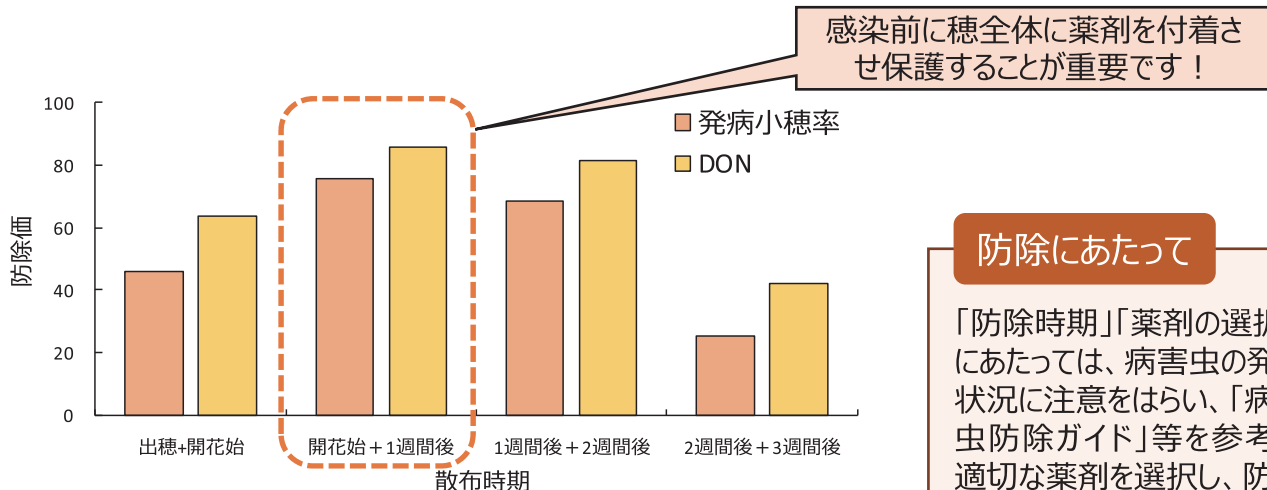
薬剤が付着しない部分がある

開花始

感染前の穂全体に
薬剤が付着

開花後

すでに感染している
恐れがある



防除にあたって

「防除時期」「薬剤の選択」にあたっては、病害虫の発生状況に注意を払い、「病害虫防除ガイド」等を参考に適切な薬剤を選択し、防除を行いましょう。

図 薬剤散布時期の違いによる防除効果の比較（2005年十勝農試）

防除回数

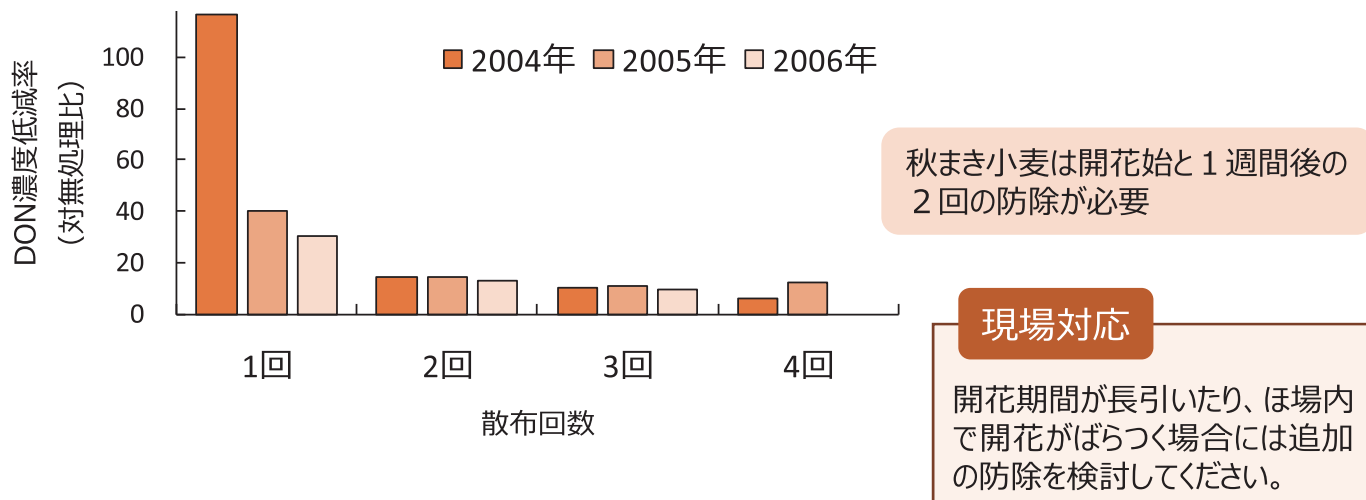


図 秋まき小麦における薬剤散布回数とDON濃度低減率の関係 (十勝農試)

薬剤防除以外のDON対策

倒伏するとDON汚染リスクが高くなります！

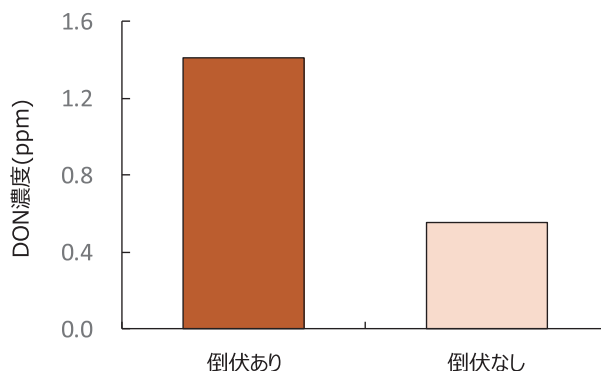


図 倒伏の有無がDON濃度に及ぼす影響 (2006年十勝農試)

収穫後の調整でDON低減を！



適切な肥培管理を！

DONを産生する赤かび病菌が感染した赤かび粒には高濃度のDONが蓄積しています

粒厚選別・比重選別で赤かび粒の除去を！